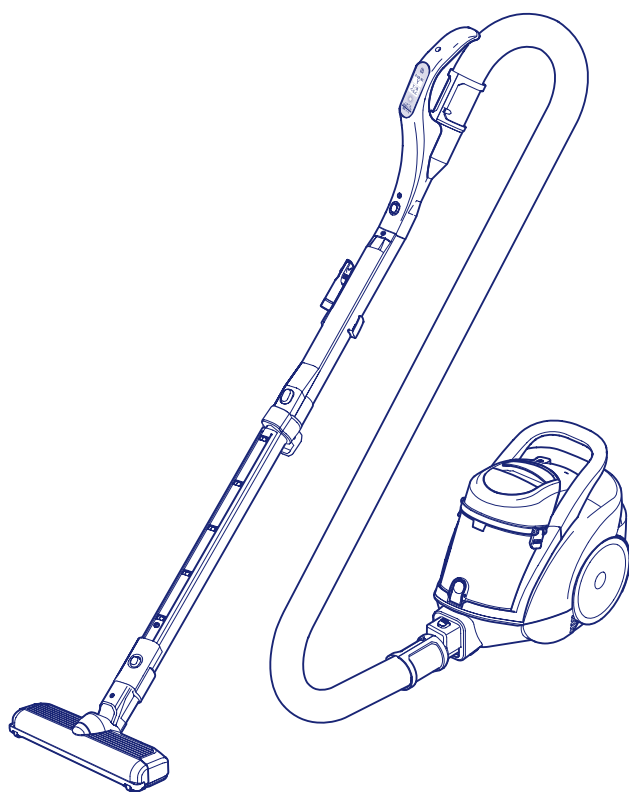


コンパクト サイクロンクリーナー KIC-C100MK

取扱説明書



保証書付

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- このクリーナーは家庭用です。業務用や掃除以外の目的に使わないでください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書（保証書付）はお使いになる方がいつでも見るできるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

ページ

ご使用前に

各部の名称と組み立てかた	2
安全上のご注意	3
使用上のお願い	4

取り扱いかた

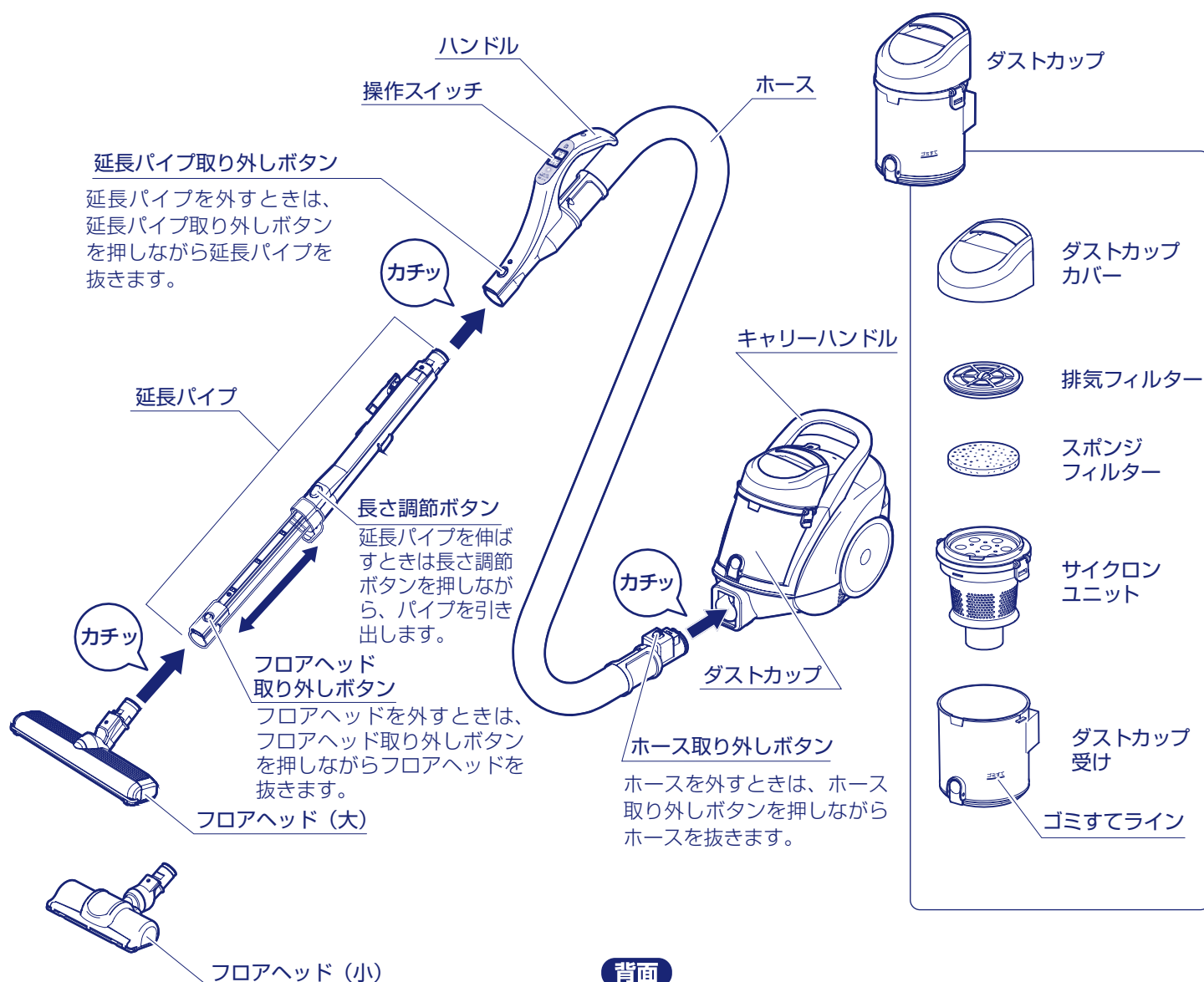
使い方	5
収納のしかた	7
ゴミを捨てる	8
お手入れのしかた	9

こんなときには

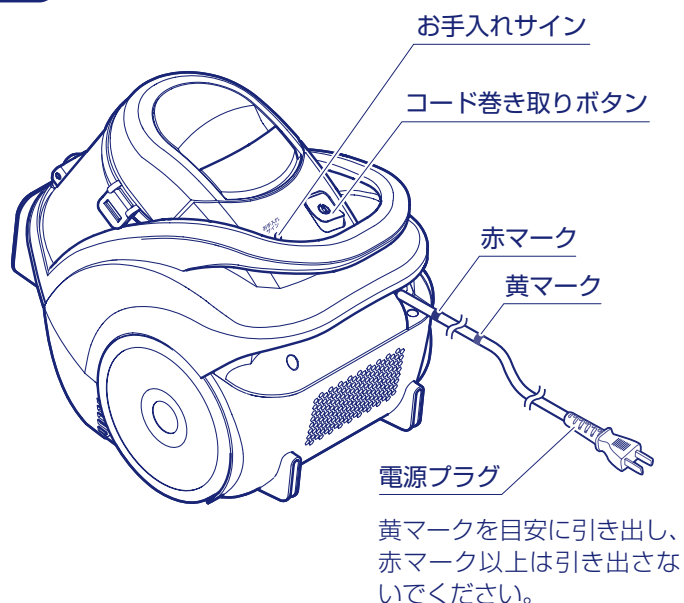
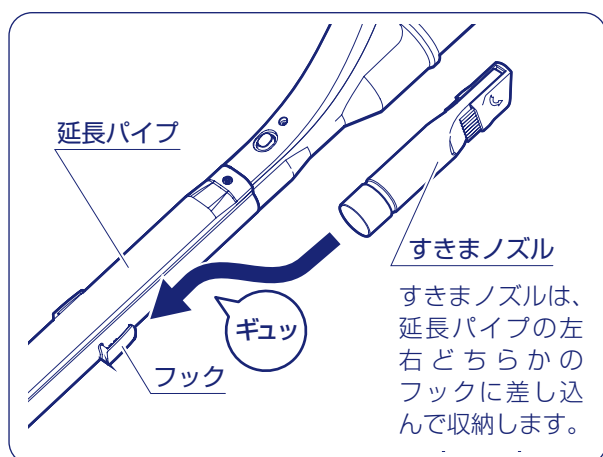
故障かな？と思ったら	13
仕様	15
保証とアフターサービス	15
保証書	裏表紙

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

各部の名称と組み立てかた



背面



安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのもので、「警告」「注意」の2つに分けて説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

⚠ 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

⚠ 注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

図記号の意味



してはいけない「禁止」内容です。



しなければならない「強制」内容です。

⚠ 警告



必ず実施

異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く

発煙、発火、感電のおそれがあります。

【異常の例】

- こげくさいニオイがする
- 電源プラグ、電源コードが異常に熱くなる
- 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- 運転中時々止まる
- 運転中、異常な音がする
- ホースが破れている
- 触れるとビリビリ電気を感じる

- お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

電源・電源プラグ・電源コードは正しく使う



必ず実施

電源は、交流100V・定格15A以上のコンセントを単独で使う

火災・感電の原因になります。

電源コードは黄マークまで必ず引き出し使う

火災の原因になります。

電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付いているときは、乾いた布でよく拭き取る

湿気などで絶縁が低下し、発火・感電の原因になります。

電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む

ショートによる発火・感電の原因になります。



禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

ショートによる発火・感電の原因になります。

電源コードは巻きとったまま通電しない
火災の原因になります。

電源コードは赤マーク以上は引き出さない
電源コードが断線したり、接続部が破損し、火災・感電の原因になります。

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。

電源コードを傷つけない

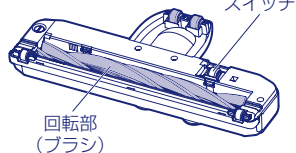
傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものをのせる、挟み込むなどしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



禁止

フロアヘッド(大)の回転部やローラー
スイッチに触れない
けがややけどの
原因になります。



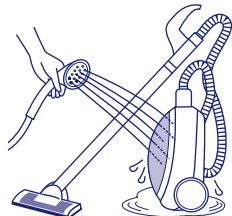
水ぬれ禁止

水まわり、風呂場など湿気のある場所での使用は絶対にしない

ショートによる発火・感電の原因になります。

本体を水につけたり、
本体に水をかけたりし
ない

感電・故障の原因に
なります。



警告



禁止

灯油・ガソリン・シンナーなどの引火性のあるもの、火の気のあるもの、トナーなどの可燃性のものを吸わせたり、そばで使わない

火災の原因になります。



分解禁止

絶対に分解・修理・改造はしない
発火・けが・異常動作の原因になります。

注意



禁止

火気に近づけない

本体・電源コードなどが変形・ショートし、発火の原因になります。
排気で炎が大きくなり、火災の原因になります。



禁止

吸込口をふさいで長時間運転しない
排気口をふさがない

過熱による本体の変形・故障・発火の原因になります。



禁止

破れたり、破損したフィルターは使わない
故障・性能低下の原因になります。
フロアヘッドの車輪や回転ブラシが摩耗したり破損している場合は使わない
床面の傷付きの原因になります。



禁止

本体にはのらない
子どもに遊ばせない
ホースは踏んだり、無理に曲げたりしない
けがや本体・ホースの破損の原因になります。



禁止

運転中にコード巻き取りボタンを押したりダストカップを取り外したりしない
けがや本体破損・故障の原因になります。



必ず実施

持ち上げるときは、必ずキャリーハンドルを持つ
本体が落下して、けがや床に傷がつく原因になります。



必ず実施

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに電源プラグを持って引き抜く

電源コードが断線したり、ショートによって発火・感電したりする原因になります。

電源コードはまっすぐ引き出す

電源コードが本体引き出し部とこすれて破損し、ショートによる発火・感電の原因になります。

電源コードは、黄マークまで引き出して使用し、赤マーク以上は引き出さない。

電源コードの断線やショートによる発火・感電の原因になります。

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く

絶縁低下により漏電し、火災・感電の原因になります。



使用上のお願い

- この掃除機は室内用です。屋外では使わないでください。
- 次のようなものは吸わせないでください。フィルターの目詰まりや故障の原因になります。
液体・湿ったゴミ・粉末状のもの・ガラス・針など尖ったもの・大量の砂
- 多量のゴミ・大きなゴミ・ビニール類は集中して吸わせないでください。吸引力の低下やホースの詰まりの原因になります。
- フロアヘッド・すきまノズルを床・壁・家具などに強く押し付けしないでください。本体を無理に引っ張ったり、柱・壁・家具などにぶつけないでください。傷がついたり破損する原因になります。
- ダストカップ内のゴミは「ゴミすてライン」以上になる前に捨ててください。
- フィルターは専用のものを正しく取り付けてください。
- 穴があいたり、傷がついたホースは使わないでください。

使い方 ①

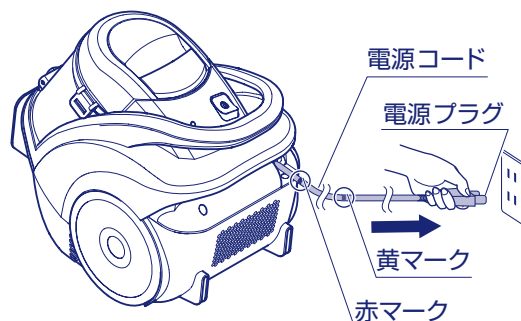
■ 運転のしかた

⚠ 注意

- 次のようなものは吸わせないでください。フィルターの目詰まりや故障の原因になります。
液体・湿ったゴミ・粉末状のもの・ガラス・針など尖ったもの・大量の砂
- 多量のゴミ・大きなゴミ・ビニール類は集中して吸わせないでください。
吸引力の低下やホースの詰まりの原因になります。
- 段差がある場合は、キャリーハンドルで本体を持ち上げて移動させてください。
フローリングから和室に移動するときなど、引っ張ったまま移動させると、故障や、建具の傷や破損の原因になります。
- 「お手入れサイン」が点灯したままの状態や、フィルターやホースが目詰まりした状態で使用し続けると、モーターが発熱し、安全のために運転を停止させますが、冷えると復旧します。(P13 参照)
- 電源コードは、黄マークを目安に必ず引き出して使用してください。
また、赤マーク以上は引き出さないでください。
電源コードの発熱や断線・ショートによる発火・感電の原因になります。

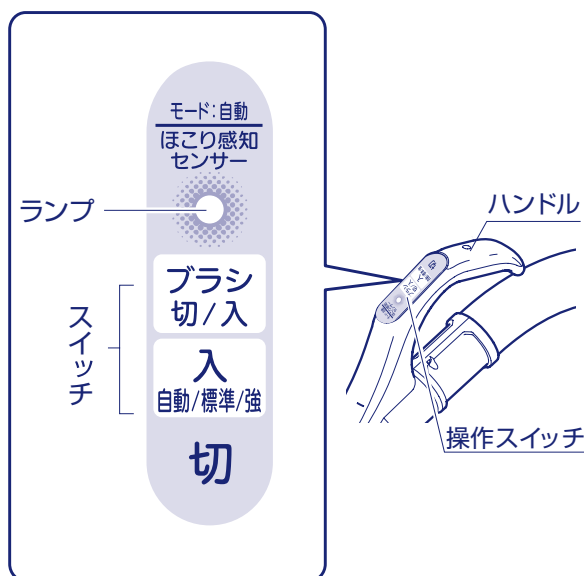
1 電源を入れる

電源コードをまっすぐ引き出し、電源プラグをコンセントに差し込みます。
電源コードは、黄マークまで引き出して使用し、赤マーク以上は引き出さないでください。



2 掃除する

- ハンドル部分の「入 自動 / 標準 / 強」スイッチを押します。
自動モードで運転をはじめます。
 - ・ 自動モードでは、お掃除するところのゴミの量に合わせて吸引力を自動的に調節します。
 - ・ ほこり感知センサーが、ほこりやゴミの量によって点灯したり消灯したりします。
※ほこりやゴミの量が多いときに点灯します。
- お掃除によっては、さらに「入 自動 / 標準 / 強」スイッチを押して、標準モードや、より強い強モードに切り替えることができます。
モードは、押すたびに「自動 → 標準 → 強 → 自動 …」と、切り替わります。
 - ・ 強モード：自動モードでゴミが取りきれないときなど
 - ・ 標準モード：カーテンなどを吸い込んでしまうときや、静かにお掃除したいときなど
- フロアヘッド (大) の回転ブラシは、「ブラシ切 / 入」スイッチを押すたびに、回転させたり停止させたりすることができます。
※ブラシを回転させることで、ゴミをかき出しながら吸い込むことができます。

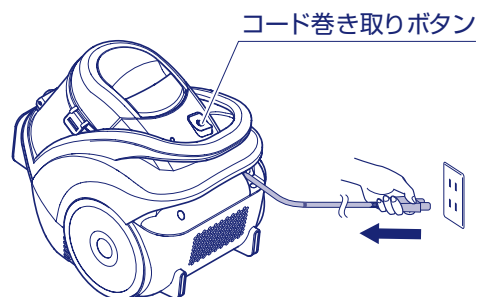


3 終わる

ハンドル部分の「切」スイッチを押します。
運転が止まります。

⚠ 注意

- 必ず電源プラグを持ってコンセントから引き抜いてください。
- ご使用が終わったら電源プラグをコンセントから抜いてください。接続したまま放置しないでください。
- ご使用後、電源コードはコード巻き取りボタンを押して必ず本体に巻き取ってください。
- 電源コードの本体巻き取りは電源プラグを持った状態で行なってください。電源プラグの跳ね上がりでけがをしたり家具などの破損の原因になります。



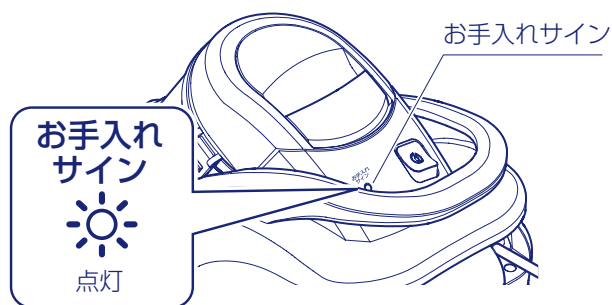
使い方 ②

■お手入れサインの見かた

ダストカップ、フィルター類にゴミが詰まると「お手入れサイン」が点灯します。

このときは、ダストカップ、フィルター類をお手入れしてください。(P9、10 参照)

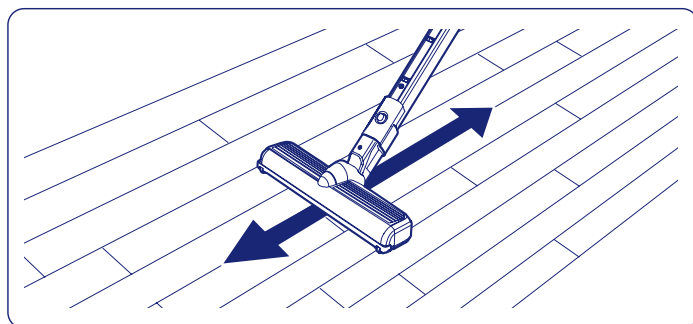
※ダストカップ、フィルター類をお手入れしても「お手入れサイン」が点灯するときは、本体風路、フロアヘッド、延長パイプ、ホースにゴミが詰まっている場合があります。取り外して確認のうえ、お手入れしてください。



■フロアヘッドについて

フロアヘッド (大)

- 「ブラシ切・入」を押すと、回転ブラシがほこりをかき上げ、吸い込みます。
- 回転ブラシは、フロアヘッドを床から浮かすと止まり、ゆっくりおろすと、再び回転します。
- 毛足の長いじゅうたんなどで、回転ブラシが止まる場合は、回転ブラシを止めた状態でご使用ください。



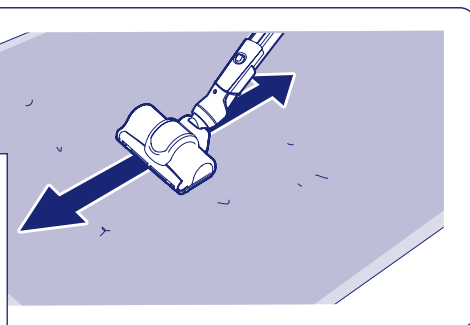
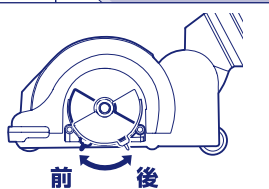
フロアヘッド (小)

じゅうたんの掃除

- 当社独自の毛取りブラシが、じゅうたんについたペットの毛などを効果的に取り除きます。

〈フロアヘッド (小) 動作イメージ〉

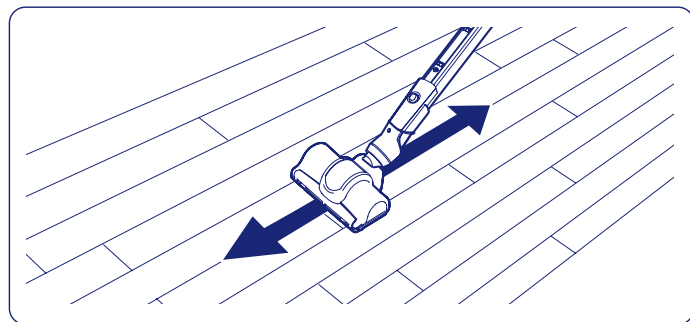
フロアヘッド (小) を前後に動かすことで、毛取りブラシが往復し、じゅうたんのゴミを取り除きます。



たたみ、フローリングの掃除

- たたみの目や、板目にそって軽くすべらせるように掃除してください。床やたたみの傷つき防止になります。

※たたみでも毛取りブラシは前後に動きますが、毛取り機能は働きません。
毛取りブラシはじゅうたんで機能します。

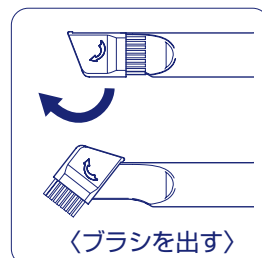
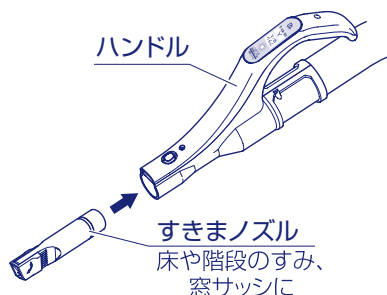


■すきまノズルについて

ハンドルに取り付けて使用します。

⚠ 注意

- すきまノズルを床・壁・家具などに強く押し付けたりぶつけないでください。傷がついたり破損する原因になります。



※すきまノズルは先端を回転させてブラシを出すことができます。

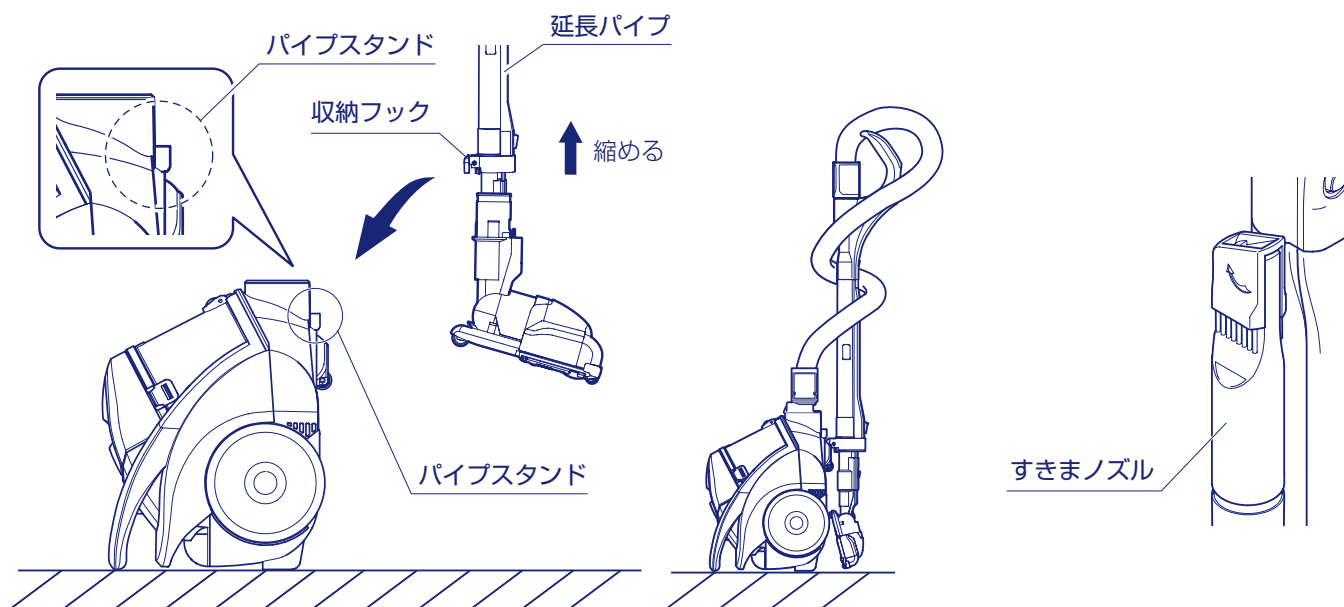
収納のしかた

⚠ 注意

- ご使用が終わったら電源コードはコード巻き取りボタンを押して必ず本体に巻き取ってください。小さいお子様などが電源コードで遊ぶと大変危険です。
また電源プラグを誤って踏んだりするとけがの原因になります。

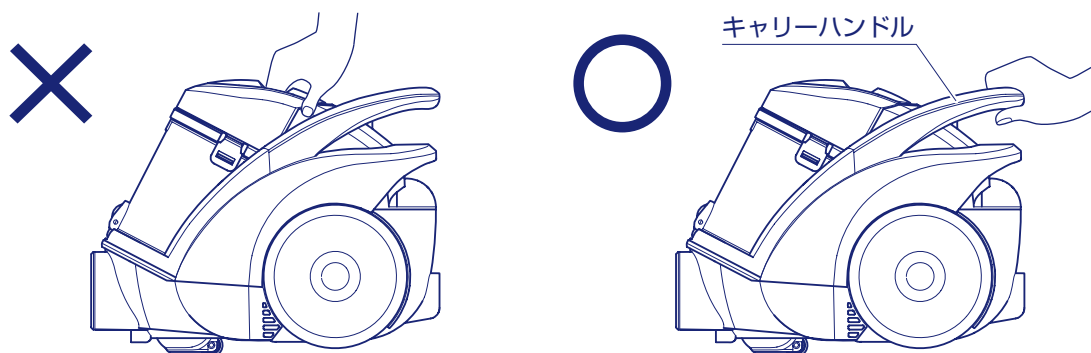
延長パイプを縮め、収納フックをパイプスタンドに差し込みます。

すきまノズルを延長パイプの側面に収納します。(P2 参照)



⚠ 注意

- 持ち運ぶ際には、必ずキャリーハンドルを持ってください。
ダストカップを持って持ち運ばないでください。
ダストカップが外れて本体が落下し、けが・故障の原因になります。

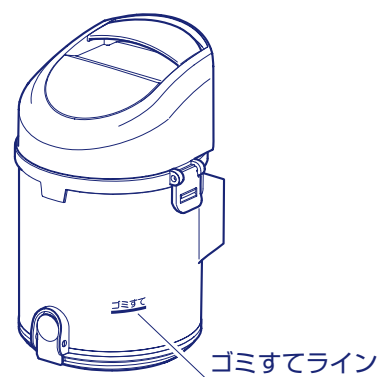


ゴミを捨てる

■ダストカップからゴミを捨てる

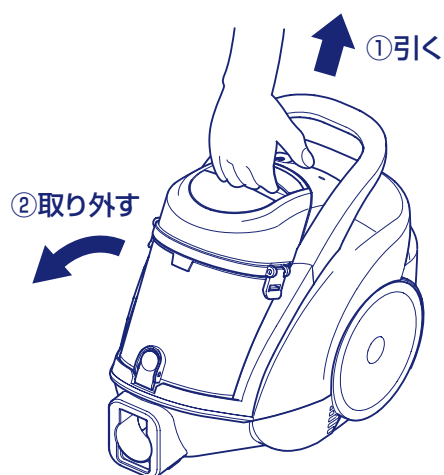
⚠ 注意

- ダストカップの「ゴミすてライン」以上ゴミをためないでください。吸引力が低下します。
- ゴミはこまめに捨ててください。
- 安全のために、本体からダストカップを外す際には、必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で行なってください。
- 本体運転中にダストカップを取り外さないでください。
- ダストカップを取り付けるときは、「カチッ」と音がして、しっかりはまり込んだことを確認してください。



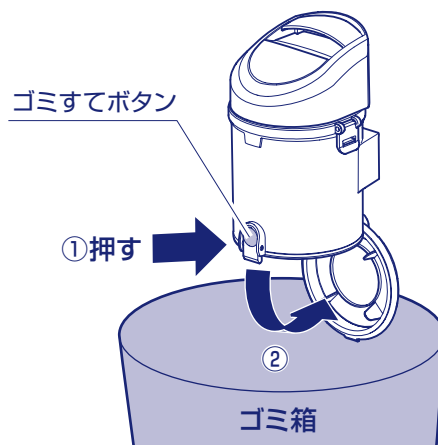
1 ダストカップを取り外す

- ①ダストカップのハンドルを引きます。
 - ②ダストカップを手前に傾けて本体から取り外します。
- ※ ハンドルを引かずに無理に取り外さないでください。



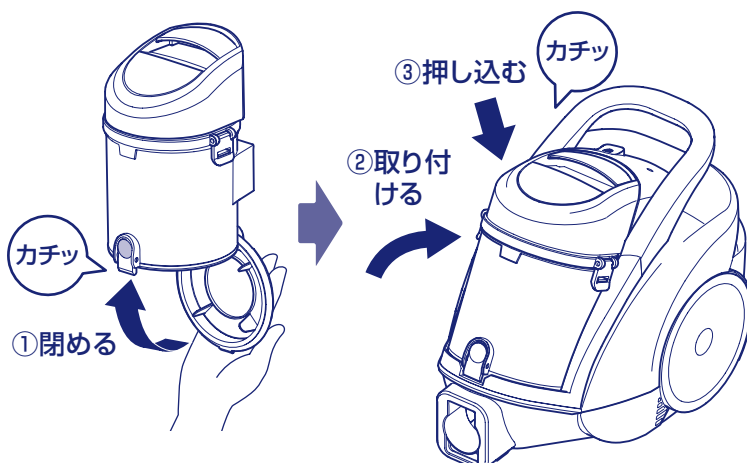
2 ゴミを捨てる

- ①ダストカップ受け下部のゴミすてボタンを押します。
- ②底ぶたが開き、ゴミを落とすことができます。



3 ダストカップを本体に取り付ける

- ①手でダストカップの底ぶたをしっかりと閉めます。
 - ②ダストカップを取り外しと逆の手順で本体に取り付けます。
 - ③上から軽く押し込んで固定します。
- ※ このとき、ハンドルは引かずにそのまま「カチッ」と音がするまで押し込んでください。



お手入れのしかた ①



警告

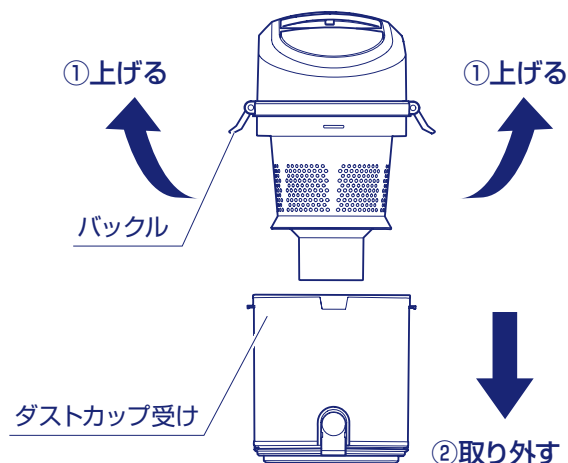
●お手入れの際には、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ダストカップ、フィルター類のお手入れ

1 ダストカップを本体から取り外す (P8 参照)

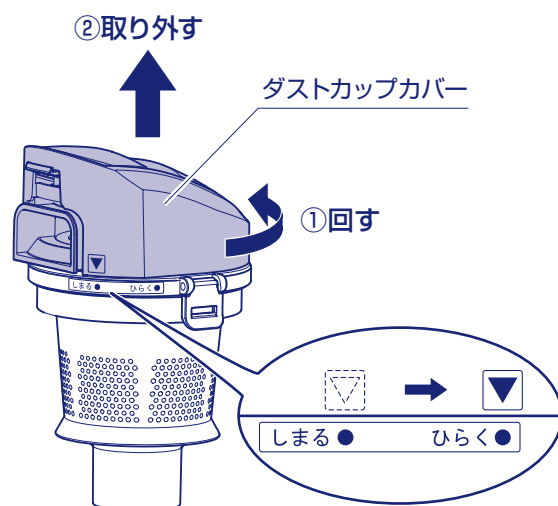
2 ダストカップ受けを取り外す

- ①ダストカップ左右のバックルを引き上げます。
- ②ダストカップ受けを取り外します。



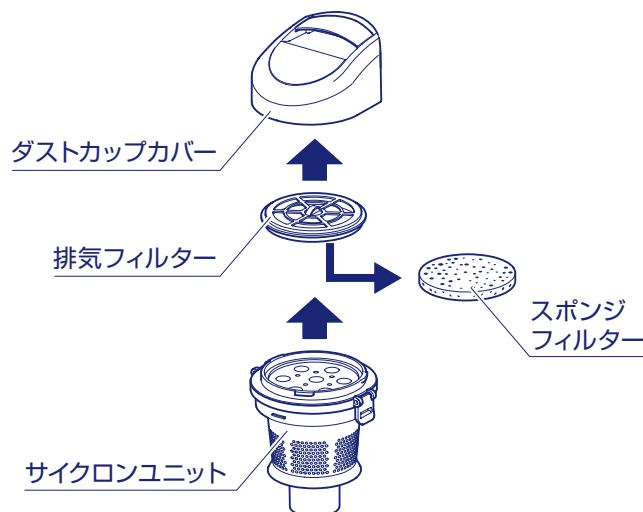
3 ダストカップカバーを取り外す

- ①ダストカップカバーの「▼」が「ひらく●」の位置にくるまで矢印の方向に回します。
- ②上に引き上げて取り外します。



4 フィルター類を取り外す

※ スポンジフィルターは排気フィルターにはまっています。

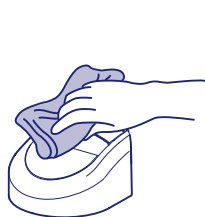


お手入れのしかた ②

1 ゴミを取り除く

各部品を軽くたたきながら、ゴミを落とします。

2 お手入れをする



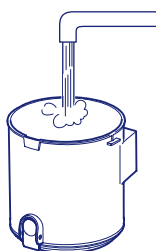
ダストカップ
カバー

水または薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いてください。

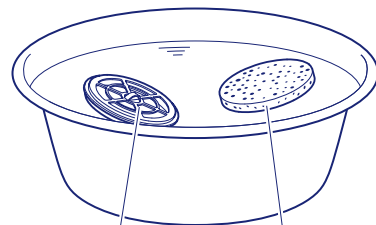


サイクロン
ユニット

流水で汚れを落としてください。



ダストカップ
受け



排気フィルター

スポンジ
フィルター

水または薄めた中性洗剤を入れた容器にフィルターを浸け、ゆすいで汚れを落としてください。中性洗剤を使ったあとは、必ず水でゆすいでください。

3 ダストカップを本体に取り付ける (P8 参照)

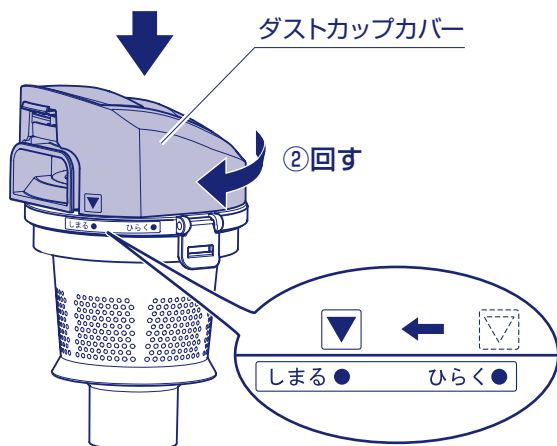
十分に各部品を乾燥させてから、逆の手順で本体に取り付けます。

※ 最初にスポンジフィルターを排気フィルターにはめ込んでください。

<ダストカップカバーの取り付けかた>

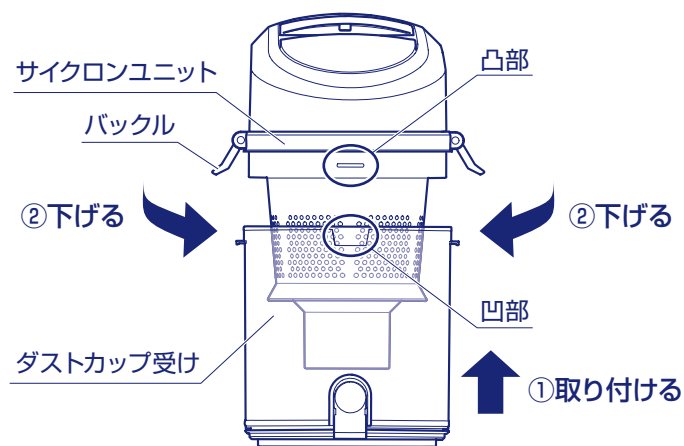
- ① ダストカップカバーの「▼」を「ひらく●」の位置に合わせ取り付けます。
- ② 「▼」が「しまる●」の位置にくるまで矢印の方向に回し固定します。

① 取り付ける



<ダストカップ受けの取り付けかた>

- ① ダストカップ受けをサイクロンユニットに取り付けるときは、サイクロンユニットのふちの凸部とダストカップ受けの凹部を合わせてください。
- ② ダストカップ左右のバックルを引き下げ、固定します。



⚠ 注意

- ダストカップやフィルター類はこまめにお手入れをしてください。ほこりや汚れがたまったらそのまま使用すると、モーターが発熱し故障の原因になります。

特に、「排気フィルター」と「スポンジフィルター」は、最低3ヶ月に一度は表と裏のみぞにあるほこりや汚れをきれいに落としてください。

※ 3ヶ月は目安です。ゴミの種類や使用頻度によって、お手入れの頻度は異なります。

- 表面が乾いていても内部に水分が残っている場合があります。

風通しが良い場所で十分に乾燥させてください。

乾燥させないで使用すると、水分がモーターに付着し、故障の原因になります。



排気フィルター



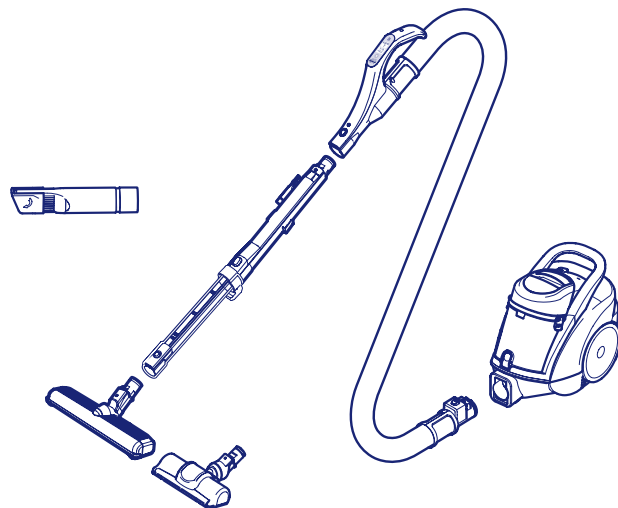
スポンジフィルター

お手入れのしかた ③

■本体、付属品のお手入れ

布に水または薄めた中性洗剤を含ませ、充分によく絞ってから拭いてください。

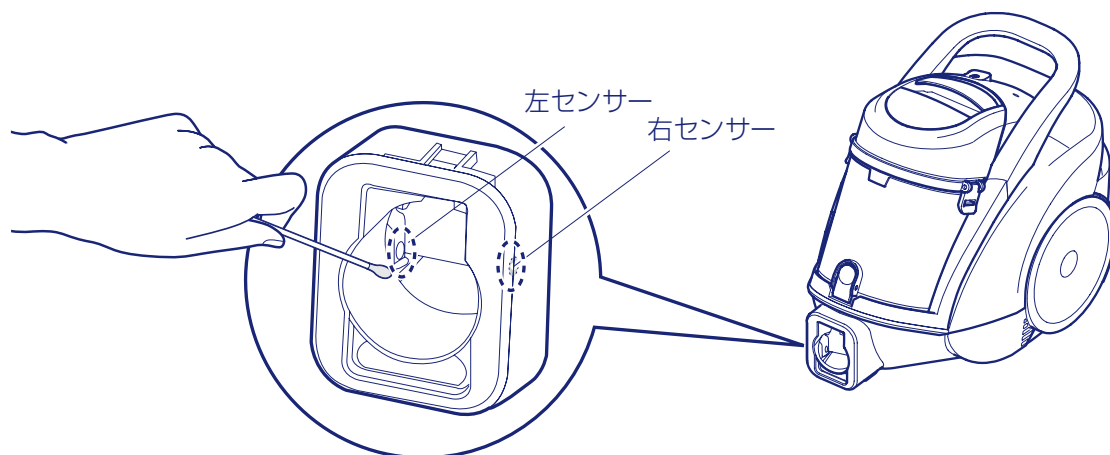
※お手入れにシンナー、アルコール、ベンジン、アルカリ性洗剤、漂白剤などを使用しないでください。変色、変形、変質、破損し、故障の原因になります。



■ほこり感知センサーのお手入れ

本体ノズル内の左右のセンサーを綿棒などで清掃してください。

※定期的に掃除してください。ゴミが付着していると誤動作します。

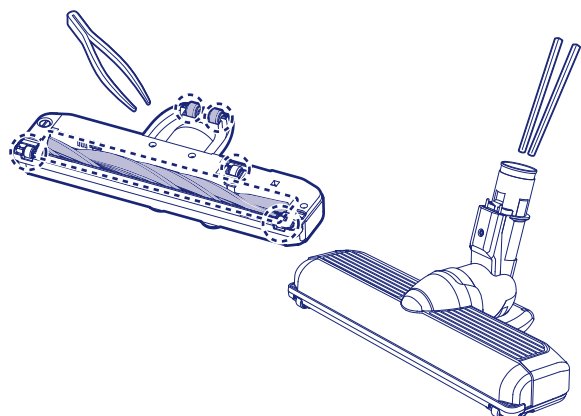


■フロアヘッドのお手入れ

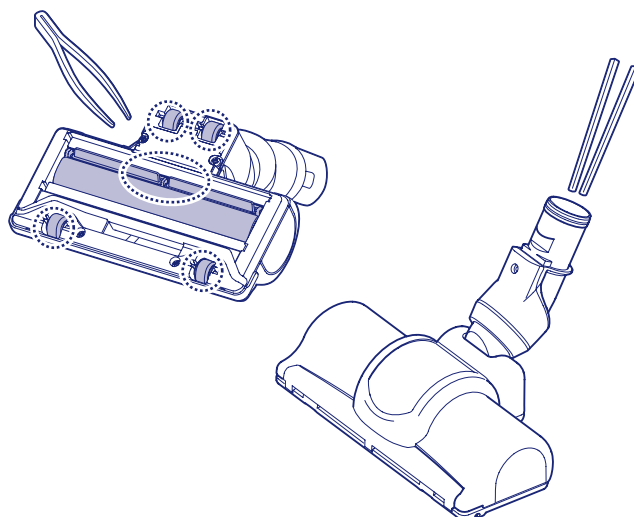
○部からみついた毛・糸くずはピンセットなどで取り除いてください。表面は、布に水または薄めた中性洗剤を含ませ、充分によく絞ってから拭いてください。

フロアヘッド内部にゴミがたまり、吸引力が落ちる場合があります。わりばしやピンセットで定期的に取り除いてください。

●フロアヘッド (大)



●フロアヘッド (小)



お手入れのしかた ④

■回転ブラシの水洗い

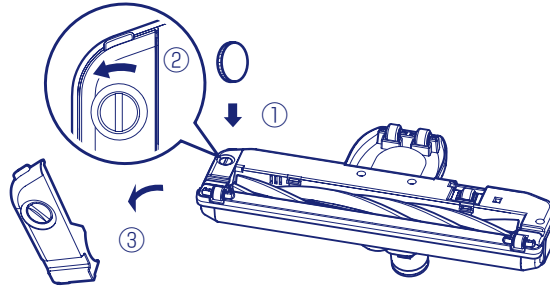
フロアヘッド（大）の回転ブラシは取り外して水洗いすることができます。

⚠ 注意

●絶対にフロアヘッド（大）自体は、濡らしたり、水洗いしたりしないでください。
火災・感電の原因になります。

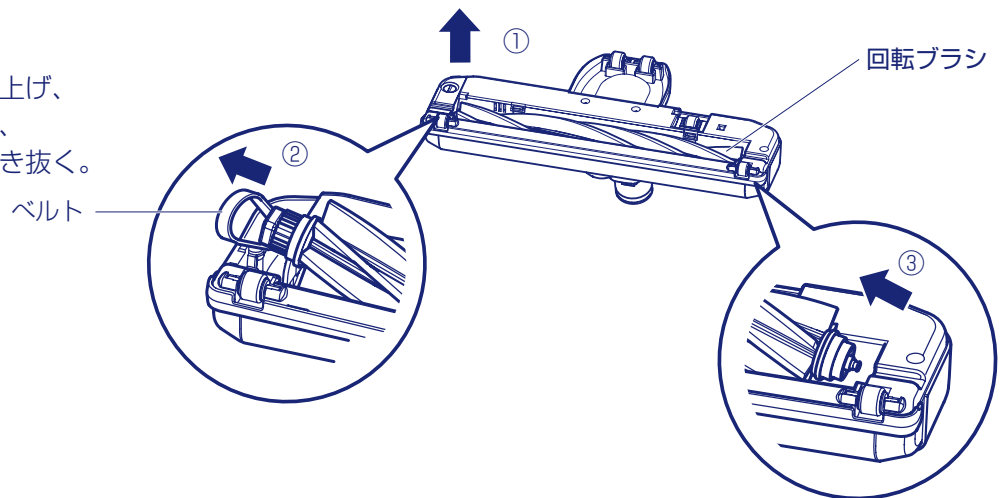
1 回転ブラシカバーを外す

- ①ロックの溝に合ったコインや
マイナスドライバーなどを使い
- ②ロックを図のように回し、解除し
- ③ブラシカバーを外します。



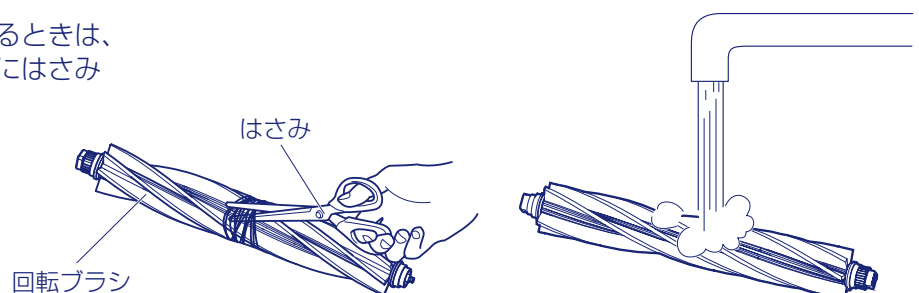
2 回転ブラシを外す

- ①ベルトごと回転ブラシを持ち上げ、
- ②回転ブラシからベルトを外し、
- ③矢印の方向に回転ブラシを引き抜く。



3 回転ブラシを水洗いし、十分に乾燥させる

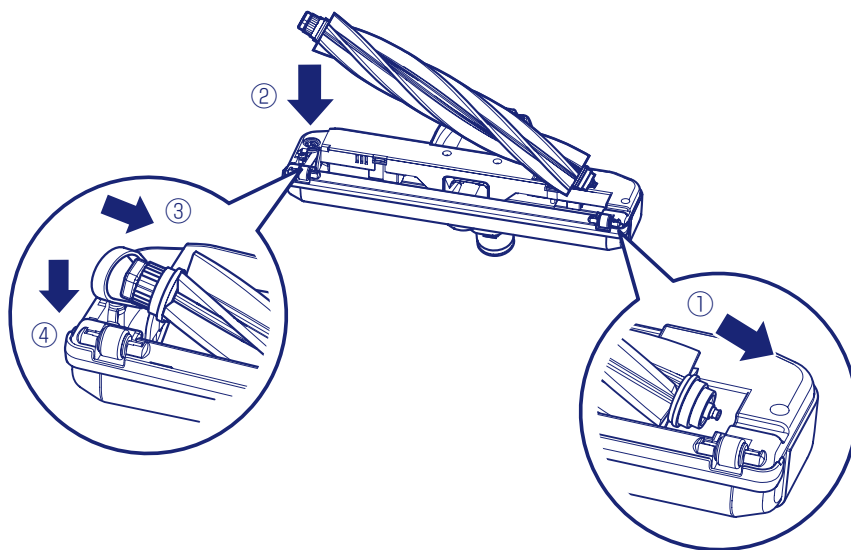
※回転ブラシにゴミがからみついているときは、
先に回転ブラシの毛を切らないようにはさみ
で切って取り除いてください。



お手入れのしかた ⑤

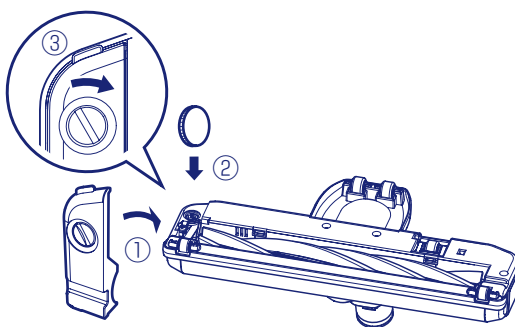
4 回転ブラシを取り付ける

- ①回転ブラシの歯車が付いていない方を
図のように差し込み、
- ②回転ブラシを下げて、
- ③回転ブラシの歯車にベルトをかけ、
- ④回転ブラシをはめこみます。



5 回転ブラシカバーを取り付ける

- ①ブラシカバーをはめ、
- ②ロックの溝に合ったコインや
マイナスドライバーなどを使い、
- ③ロックを図のように回し、ブラシカバーを
固定します。



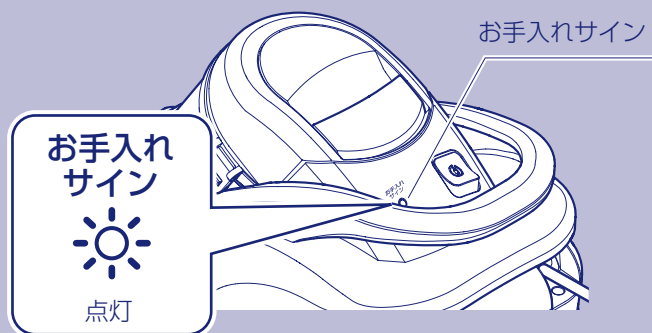
故障かな？と思ったら ①

保護装置について

「お手入れサイン」が点灯したままの状態や、フィルターやホースが目詰まりした状態で使用し続けるとモーターの過熱防止のため保護装置が働き、電源を入れても一時的に電源が入らなくなります。

<処置のしかた>

1. 電源プラグをコンセントから抜く。
 2. ダストカップのゴミを捨て、フィルター類をお手入れする。(P8～P10 参照)
 3. フロアヘッド、延長パイプ、ホースなどに詰まりがないか確認する。(P11 参照)
 4. 涼しい場所におく。
- 約 1 時間後、保護装置が解除され再び使用できます。



それでも解決できないときは

お買い上げの販売店、またはアイリスコールにお問い合わせください。

故障かな？と思ったら ②

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、下記の点を確認してください。

状 態	考えられる理由	処 置	参照ページ
運転しない	● コンセントに電源プラグが正しく接続されていない ● 「お手入れサイン」が点灯している ● フィルター類にゴミやほこりが溜まっている	● 電源プラグをしっかりと再接続する ● 保護装置の説明にしたがい処置をする	● P5、13 参照
吸引力が弱い	● フロアヘッド、延長パイプ、ホースに詰まりがある ● ダストカップの「ゴミすてライン」以上にゴミがある ● フィルター類にゴミやほこりが溜まっている ● ダストカップが本体にきちんと取り付けられていない	● 中を点検し、詰まっているものを取り除く ● ダストカップのゴミを捨てる ● フィルターのお手入れをする ● 一度本体からダストカップを取り外し、ふたの状態を確認する	● P8、9、10、11、12、13、参照
「お手入れサイン」が点灯している			
運転音が大きくなった	● フィルターの汚れがひどい ● 吸込口やノズルに大きなゴミが詰まっている	● 詰まっているゴミを取り除く	
電源コードが巻き取りきれない	● 巻き取りの状態が曲がっている ● 一ヶ所に片寄っている	● 電源コードを2～3mほど引き出し、再度巻き取りボタンを押して巻き取りをする	● P5 参照
電源コードが引き出せない	● 巻き取りの状態が曲がっている ● 一ヶ所に片寄っている	● 巻き取りボタンを押しながら、少しずつの長さで巻き取りと引き出しを交互に行なう ※ 無理に引っ張らないでください	
フロアヘッド（大）を振ると「カチカチ」と音がする	● 故障ではありません ※ ローラースイッチ内部のボールとレバーの作動音です		
フロアヘッド（大）の回転ブラシが止まる	● フロアヘッド（大）を床面から浮かせたので、安全のために回転ブラシが止まった	● しずかに下ろす ※ ふたたび回転する	● P6 参照
	● フロアヘッド（大）の回転ブラシにゴムやひもなどが巻きついたり、大きなゴミが詰まっている	● ひもやゴム、大きなゴミなどを取り除く	● P12、13 参照
ゴミを吸っていないのにほこり感知センサーが反応する ゴミを吸ってもほこり感知センサーが反応しない	● センサー部に汚れが付着している	● センサー部のお手入れをする	● P11 参照
ほこり感知センサーランプが消えない（自動運転中、パワーが弱くならない）	● 故障ではありません ※ じゅうたん、ラグ、布団、毛布などに使用すると、遊び毛や、内部にたまったハウスダストを感知するため、センサーが働く頻度が高くなり、連続して強い吸引力のままで運転する場合があります		

それでも解決できないときは お買い上げの販売店、またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

- ご自分での分解・修理・改造はおやめください。

仕様

電 源	AC100V (50Hz/60Hz 共通)	質 量	約 4.9kg(フロアヘッド、延長パイプ、ホース含む)
消 費 電 力	950W	本 体 寸 法	幅約 212 ×奥行約 340 ×高さ約 258mm
吸 込 仕 事 率	150W		
集 塵 容 積	0.4L	コ ー ド 長	5.0m

セ ャ ッ ト 内 容	掃除機本体 フロアヘッド (大・小各 1 個) すきまノズル (1 個) 延長パイプ (1 本) ホース (1 本) 排気フィルター/スポンジフィルター (各 1 個:本体にセット) 取扱説明書 (本書)
-------------	--

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

■消耗部品について

排気フィルター、スポンジフィルターは消耗品です。
お手入れしても汚れが取れなくなった場合、交換してください。
消耗部品のお求めは、お買い上げの販売店または、アイリスコールまでご連絡ください。



排気フィルター



スポンジフィルター

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。
保証書がありませんと、無料修理保証期間内でも代金を請求される場合がありますので、大切に保管してください。

■保証期間

保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。
保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、6 年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

コンパクト サイクロンクリーナー KIC-C100MK 保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間	
年 月 日		お買い上げ日より:1年間 ただし消耗品は除く	
お 客 様	ご芳名		
	ご住所 〒		
		電話() -	
※ 販 売 店	住所・店名		
	電話() -		

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内におきましても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居やご贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - ② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - ③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - ④ 一般家庭用以外(たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載)に使用された場合の故障及び損傷
 - ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器備品などとの接触による故障及び損傷
 - ⑥ 本書の提示がない場合
 - ⑦ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社
〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

お問い合わせはお気軽にアイリスコールに
アイリスコール 受付時間 9:00～17:00

0120-311-564